

運営推進会議開催報告書

下記事業所について、次のとおり運営推進会議を開催したことを報告します。

1. 基本情報

事業所名	グループホーム のぞみ		
サービス種別	認知症対応型共同生活介護		
所在地	横浜市港北区日吉本町6-66-3		
担当者	齋藤 南	連絡先	045-560-6312
運営法人	株式会社 ゆい		

2. 開催日時・場所

日時	令和7年3月26日 15時45分 ~ 16時00分	場所	オンライン開催
----	---------------------------	----	---------

3. 出席者

氏名	分野	備考(所属・従事経験など)
■■■■■	利用者又は利用者の家族	欠席
■■■■■	地域住民の代表者	日吉本町東地区 民生委員・児童委員
■■■■■	地域住民の代表者	日吉本町西地区 民生委員・児童委員
■■■■■	地域住民の代表者	高田地区 民生委員・児童委員
■■■■■	地域住民の代表者	高田地区 民生委員・児童委員
■■■■■	地域住民の代表者	高田地区 民生委員・児童委員
■■■■■	当該サービスに知見を有する者	日横クリニック 医師
■■■■■	当該サービスに知見を有する者	高田歯科医院 歯科医師
■■■■■	当該サービスに知見を有する者	ひよこ訪問看護ステーション 看護師
■■■■■	当該サービスに知見を有する者	日吉堂薬局 薬剤師
■■■■■	当該サービスに知見を有する者	インダ薬局 薬剤師
■■■■■	当該サービスに知見を有する者	他法人 ケアマネジャー
■■■■■	市の職員又は地域包括支援センターの職員	高田地域ケアプラ 主マネ
■■■■■	市の職員又は地域包括支援センターの職員	高田地域ケアプラ 看護師
■■■■■	市の職員又は地域包括支援センターの職員	樽町地域ケアプラ 保健師
■■■■■	市の職員又は地域包括支援センターの職員	日吉本町地域ケアプラ 主マネ

4. 活動状況報告

別紙(様式3)のとおり

(裏面あり)

5. 活動状況に関する評価・意見・要望

【施設・行事について】

民生委員①： 見学してとても気持ちの良い施設だと思いました。

民生委員②： 行事の皆さんの写真楽しそう。沢山召し上がっていてビックリ。皆さんの努力だと思いました。

【事故について】

民生委員①：

事故について、年を取ると昨日できたことができなくなったりするので、そのようなことが(利用者の方の)事故の原因になるのではないかと思います。原因をしっかりと検討して対策されているのでよいと思います。

民生委員②：

ちょっとした見守り不足が事故やヒヤリハットにつながっているのではないかと思った。

医師：

2つの立場がある。

身体拘束をして動かないようにして介護する。人間として扱われなかったという例。東京の北区であった。介護者が足りない。動かれると人手がかかるから拘束していた。

家で介護をしているとき、必ず転倒などが起きる。⇒ 介護施設だったら起きないのか？

1対1できないことが1対多でできるのか？

介護施設に行くと転倒すると介護施設の責任になってしまう。

転倒の報告が増えているのは、細かいことでも上がっているのよいと思う。

課題は、対策をとった結果が良い結果になったのかどうかを検証して立証していく必要がある。

介護人材は不足している。昨年の改定で報酬を下げた。戦後最高につぶれている事業所が多い。

人手が足りないともみることできなくなってしまうという社会情勢を知ってほしい。

利用者も介護する人たちも被害を受けていると思う。

お互い同士が責任追及だけをやっていくとうまくいかない。相互理解が必要。

危機的な状況になっている。皆さんで考えていただきたい。

6. 評価・意見・要望に対する考え・取組

【事故について】

①薬の間違い、②動けない方の転落 の2つは絶対にさせてはいけないと思って取り組んでいる。

1月以降は服薬対策をしている。服薬事故については0になっている。

動く方たちについてはどのようにしたら事故を防ぐことができるのかというのを、家族を含めて考えていくようにしていきたい。

事故を防ぐための取り組みを来年度も続けていく。

7. 地域からの情報提供

特になし

8. その他特記事項

特になし

活動状況報告書(認知症対応型共同生活介護)

1. 基本情報

事業所名	グループホーム のぞみ		
所在地	横浜市港北区日吉本町6-66-3		
担当者	齋藤 南	連絡先	045-560-6312
運営法人	株式会社 ゆい		

2. 登録者の状況

登録者数(2月28日現在)	女性	8名	男性	1名	計	9名
---------------	----	----	----	----	---	----

要介護度(平均2.8)	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
	名	名	1名	2名	3名	3名	名

3. 運営方針

事業所の目標	事業所の理念: その人らしく生きる～その一瞬を大切に～ 今年度目標: 「その人らしく生きる」を支え寄り添う介護を行う
目標に向けた 具体的取組	【事業所のしつらえ・環境】 ・自立支援を促す環境作り 【事業所と地域のかかわり】 ・外出の機会を設ける ・地域と関わる機会を設ける 【業務・職員について】 ・認知症ケアの知識・技術の向上 ・働きやすい環境作り、業務効率化

4. 活動報告

○社内研修 ジョブモデルアカデミー(eラーニング) 12月 事故発生又は再発防止に関する研修 1月 ターミナルケアに関する研修 2月 医療に関する教育、研修 1月 虐待防止一斉点検の実施
○社外研修 1月～3月 認知症介護実践リーダー研修 1名参加
○行事 12/24 クリスマス会 1/1・2 お正月 おせち 初詣 1/5 1月生まれお誕生日会 2/3 節分 3/1 ひな祭り・梅の装飾作り 毎月第2土曜日 フラワーアレンジメント 毎月第3土曜日 移動販売パン屋さん(エッセン) 個別外出レク

5. 健康管理

毎朝、体温、血圧測定を行う他、普段と違った様子はないかを観察し、食事量や排せつ等に変化がないかを確認しながら、医師や看護師と連携して対応しています。また、手摺り消毒や定期的な換気も継続して行っております。

6. 事故・ヒヤリハット報告

<p>内容</p>	<p>事故 5 件(行政報告1件)</p> <p>①転倒 1/13(15:45)デイルームキッチン前にて丸椅子に座りスタッフと洗濯物置みをしていた。スタッフが席を外した時に当該入居者も丸椅子から立ち上がる。その後再び丸椅子に座ろうとした際に椅子の位置が遠く、後ろに尻もちを着く形で転倒され腰と後頭部をぶつける。</p> <p>②落葉 11/17 (17:30)夕食後薬を薬杯を使用し自身で服用していただくが、口元に薬杯を運んだ際に薬が床に落ちてしまう。床を探すが見当たらず。</p> <p>③転倒 12/29(23:57) 物音がしたため訪室すると、居室内ダンスと窓の間に座り込んでいる当該入居者を発見。トイレに行こうとしたとのこと。</p> <p>④転倒 1/2(5:58) スタッフが他入居者の排泄介助を終え中央トイレに向かったのと同様に物音がした為、確認すると自室前の廊下で右肘をついた状態で倒れていた。</p> <p>⑤転落 2/19(4:40)「ドスン」と音がしたので、訪室すると、ベッド下に尻もちをついている所を発見する。</p> <p>ヒヤリハット 23件</p> <p>①異食の可能性(3件)</p> <p>②転倒・転落の危険性(5件)</p> <p>③服薬事故のリスク(4件)</p> <p>④皮下出血(3件)</p> <p>⑤離脱(3件)</p> <p>⑥持参品の紛失恐れ(5件)</p>
<p>改善策</p>	<p>事故</p> <p>①【原因】以前から丸椅子に座ることがあり、その時も大丈夫と思い丸椅子を使用していた。 【対策】入居者に丸椅子は使用しない</p> <p>②【原因】床に薬が落ちたことは確認したが探し出すことができなかった。深さのある薬杯を使用しており顔をしっかりと上げないと口腔内に入らず横から落ちてしまったと言われる。 【対策】当該入居者に関しては、自身で口元に運ぶのが困難な為、スタッフが介助することにした。</p> <p>③【原因】眠前薬を服用しており、夜間の覚醒時に眠気が強い様子であった。 【対策】主治医に相談し、眠前薬減量し様子観察となる。 就寝時は靴下脱ぐように声掛けすることを徹底。</p> <p>④【原因】昼夜逆転傾向にあり、日中の活動量が減っており下肢筋力が低下しているのではないかと。 【対策】日中の活動量を増やし、下肢筋力の低下を予防する。</p> <p>⑤【原因】起き出しがあった際に、トイレ後等、臥床まで見届けないこともあった。また、見届けていれば、ベッドの端に臥床や端座位になられた際に、浅座りも良く見られている為、声掛けし促せたのではないかとと思われる。 【対策】優先順位を把握しながら対応する。夜間の起き出しがある際は、眠気もあり、ふらつきやすい事を考慮し、動作の見守りや臥床までの確認をする。 ベッドへの臥床の際の位置にも配慮する。</p>

7. 地域への情報提供

1/28(火)看護小規模多機能施設 のぞみと合同で第5回運営推進会議を開催しました。

8. その他特記事項

(職員の入退職・異動等)

【異動】

齋藤 南 グループホームのぞみ管理者→小規模多機能管理者・グループホームめぐみ管理者
高橋 まり子 グループホームのぞみ→グループホームのぞみ管理者